

1. 応募者及び推薦者について

(1) 自動車技術会の非会員でも応募可能ですか？

→ 応募者本人は非会員でもご応募可能です。

ただし推薦者は、本会の個人会員または賛助会員会社に所属している必要があります。

(2) 推薦者について、望ましい役職等の規定はありますか？

→ 規定はございません。個人会員による推薦ではなく賛助会員としての推薦をされる場合は、氏名欄には「賛助会員代表者」の方を記載ください。

(3) 「論文賞」での推薦方法で、自薦または他薦でより望ましい方はありますか？

→ どちらの場合でも、選考における違いは一切ございません。

(4) 推薦人となるため自動車技術会に入会する場合、入会期限はありますか？

→ 自動車技術会賞の応募期間まで（11 月中）にご入会ください。

会員番号欄が未発行の場合、書類には「0000000（0 を 7 個）」と入力ください。

<入会案内> <https://www.jsae.or.jp/mbs/membership/>

(5) 推薦人となる自動車技術会の会員が自社にいません。賛助会員の A 社から了解を取り、A 社に推薦してもらうことは可能ですか？

→ A 社が共著者/共同開発者の所属である場合は推薦可能です。応募に関連のない賛助会員の他社からの推薦はできません。

2. 共同受賞候補者について（論文賞および技術開発賞）

(1) 4 名まで共同受賞候補者とできるとありますが、ここから増員して申請できますか？

→ 主著者 1 名+共著者 4 名の合計 5 名以内で、それ以上の増員はできません。

(2) 論文賞で、該当論文の発刊時には登録されていない人を共著者として応募できますか？

→ できません。共著者は論文に氏名の記載のある方を 4 名以内としてください。

3. 論文賞について

(1) 応募対象の国際会議はどの会議ですか？

→ 下記の URL に掲載の国際会議が対象です。

＜国際会議＞ <https://www.jsae.or.jp/assoc/event/inter-congresses/>

ただし【FISITAとAPAC】については JSAE 主催（日本開催）の会議のみが対象です。

（２）SAE World Congress は応募対象となる国際会議ですか？

→ SAE World Congress は応募の対象外です（本会主催ではないため）。応募書類とする場合は参考資料「関連論文（３編以下）」としてご提出ください。

（３）J-Stage 上では論文賞の応募対象期間内に論文が公開されていますが、収録される「自動車技術会論文集」の発行日が対象期間外です。今回の応募はできませんか？

→ 今回のご応募は【可能】です。自動車技術会論文集の発行に先行して J-Stage 上で規定の期間内に公開されたものは対象となります。

（４）論文賞に自薦します。推薦書には推薦者・受賞候補者のどちらに自身の情報を入力しますか。また推薦理由にはどのように記載するのがよいでしょうか？

→ どちらの欄にも記載ください。推薦理由は、自薦理由、アピールポイントを記載ください。

（５）論文発表時と現在の所属が異なる場合、推薦書にどのように記載すればよいですか？

→ 「論文投稿時」の所属でご記載ください。受賞時の公表内容は原則「元 XXX 株式会社（論文投稿時の所属名）」と掲載しています。

（６）論文主題名は異なりますが、２件の続報となる論文を応募します。応募要項では１報、２報とまとめて応募ができるとありますが、逆にそれぞれ別に応募することは可能でしょうか？

→ 主題が異なる論文は別々にご応募いただけます。

（７）続報の論文について、下記のような場合はどのように応募すればよいですか？

① 発刊済みの論文。募集要項の対象期間内

② ①の続報として発刊予定の論文。本年は募集要項の対象期間外

③ ②の続報として、論文掲載は未確定で、過去の本会大会で発表した講演。

→ 下記のとおり、その年の応募対象期間でない論文は、補足資料としてご提出ください。

（ⅰ）①を本年の論文集に応募し、②③を補足資料として提出する。

（ⅱ）②を来年度の論文集に応募し、①③を補足資料として提出する。以降③も同様

（８）所属が同じで、主著者の異なる第１～３報の論文について、第２報の筆頭著者を主著者

として応募します。「理由書」（「推薦（申請）論文の筆頭執筆者でない者を主著者として推薦する場合の理由説明書」）の提出は必要ですか？

→ この場合は「理由書」のご提出は不要です。

（９）所属も主著者も異なる第１～３報の論文について、下記のような状況の場合、「理由書」の提出は必要ですか？

【主著者】：第１報→A社の甲氏、第２報→A社の乙氏、第３報→B社の丙氏

→ B社の丙氏が応募する場合、下記のパターンがございます。

（ⅰ）第３報で応募：B社の丙氏が主著者。第１・２報は補足資料として提出可。

（ⅱ）第１～３報でまとめて応募：B社の丙氏を主著者とする場合は理由書が必要。

（１０）第１，２～報をまとめて論文として応募します。推薦書の項目⑱「主として評価希望をする報」とはどういう意味ですか？

→ ご提出いただく複数論文の中で最も成果をアピールできる報を選んでください。評価の際、評価ポイントが分散されないようにすることが目的です

4. 技術開発賞について

（１）応募資格について、指定の過去３年間に必ず量産されている必要はありますか？

→ 必ずしも量産されている必要ございません。規定の期間に「自動車技術の発展に役立つ新製品または新技術を主開発者として開発(在来技術の改良、在来技術の複合的応用、品質の向上または生産性の向上等を含む)していること」としています。

（２）「評価資料」の記入見本・具体例を提示してもらえますか？

→ 公開しておりません。規定・項目の範囲内で自由にアピールください。

（３）開発の起点はいつにしたらよいですか？

→ 何らかの形式で公表した時が起点です。各所属の基準に沿ってください。

（４）関連資料として動画を提出する場合、注意点はありますか。

→ 下記３点、ご協力をお願いいたします。

① 一般的なパソコンで再生可能なファイル形式とする

② ファイル共有システムへの格納、またはメール添付が可能なファイルサイズに抑える。審査

の関係上、5 分以内程度を目安としてください。

③ 審査時に再生不可となった場合に備え、動画に審査上重要な内容が含まれる場合は、評価資料内でも動画の内容を記載する

(5) 関連資料として動画を 2 点提出する場合、資料数は 2 点としてカウントされますか。

→ 2 点として扱います。動画 1 本に編集して 1 点とすることは可能ですが、審査の関係上、5 分以内程度にまとめてください。

(6) 関連資料「5 点以下」とありますが、複数の特許をまとめて 1 件とできる方法がありますか？

→ Excel ファイル等に下記の項目例でまとめて資料 1 点とすることが可能です。

- ① 特許番号
- ② 発明の名称
- ③ 出願年
- ④ 登録年
- ⑤ 全発明者氏名
- ⑥ 特許 URL : 下記 URL から検索し、特許情報の「固定リンク」を貼る
＜特許情報プラットフォーム J-platpat＞ <https://www.j-platpat.inpit.go.jp/>
- ⑦ 備考（出願ステイタスなど）

5. 浅原賞について

(1) 浅原賞学術奨励賞と技術開発賞に同時応募はできますか？

→同時の応募はできません。

以上 【お問合せ】公益社団法人自動車技術会 表彰担当 山崎 award@jsae.or.jp